

令和3年度の近畿地整手交

11/30

（一社）港湾技術コンサル
タンツ協会（柴木秀之会長、
会員数1140社／港コン協）
は、11月30日（火）午後3時か
ら、神戸市中央区の神戸地
方合同庁舎の3階会議室で
近畿地方整備局と意見交換
を行い、近畿地方整備局宛
ての令和3年度要望書を手
渡した。

当日は、近畿地方整備局
から、中村晃之副局长、上
原修二港湾空港部長、石井
一博総括調整官、花田祥一
港湾空港企画官らの出席が、
港コン協からは柴木会長、
高橋浩二副会长、北澤壮介
理事、八尋明彦理事、高橋
総一理事、地方幹事、事務
局が出席した。
また、Webシステムを併
用の港湾・空港関係の各事
務所の長及び本局関係者、対
会場に出席できなかった港
コン協の理事及び会員も参
加する形で意見交換を進め
た。
意見交換会では、港コン
協からは、働き方改革、担
い手確保・育成、災害時の

包括的協定関係、受注環境
の整備など26項目に及び要
望と、併せて会員アンケート
ト調査結果の報告を行った。
近畿地方整備局からは、各
要望項目に対する回答と
もに「近畿における最近の
港湾行政について」の説明
があった。

その後、要望や回答に関
する意見交換、さらにはW
eb参加者からの発言を交
えて港湾計画策定や施工計
画検討業務についての活発
な意見交換を行い、閉会し
た。

写真は、要望書を提出す
る柴木会長（中央）、高橋副
会長、北澤理事（中央から
共に左側）、要望書を受け取
る中村副局长、上原港湾空
港部長（中央から共に右側）。



近畿地方整備局との令和3年度要望書手交の様